

# WhatsUp Gold 2023.1 リリースノート

---

WhatsUp Gold のバージョン 23.1 に実装された機能と拡張機能を記載します。このリリースに組み込まれた機能の選択と検証にはお客様からのご意見が役立っています。ご協力をどうもありがとうございました。WhatsUp Gold を継続的に改善するために、引き続きお客様からのご意見をお待ちしております。

## イントロダクション

フィードバックをお待ちしております

[WhatsUp Gold Community](#) の [WhatsUp Gold Customer Validation Program \(CVP\)](#) に参加して、当社の[アイデアエーションポータル](#)に製品に関するアイデアをお寄せください。

### 追加リソース

- サポートされるバージョン、パッチ適用/アップグレード、機能の廃止については、『[製品互換性ガイド](#)』を参照してください
- テクニカルサポートでどこまでカバーされるかについては、「[サポートの範囲](#)」を参照してください
- セキュリティの管理方法については、「[セキュリティガイドライン](#)」を参照してください
- WhatsUp Gold のシステム要件は、「システム要件」の項を参照してください

## WhatsUp Gold 2023.1 の新機能

---

WhatsUp Gold の最新バージョンには次の機能が実装されました。

- [自動デバイス監視](#)
- [SNMP テーブル監視](#)
- [検出更新のオプション](#)
- [検出属性のユーザーコントロール](#)
- [認証情報ライブラリインジケーター](#)
- [24 時間単位の時刻形式](#)

WhatsUp Gold の最新バージョンでは次の機能が更新または改善されました。

- [ログ管理設定の変更](#)
- [アクションと通知の改善 \(デバイスプロパティ\)](#)
- [アラートセンターダッシュボード](#)
- [EUM コンポーネントの非推奨](#)

### 自動デバイス監視

検出後のデバイスの自動監視に適用できるルール/サブルールエディタダイアログに、次のオプションが追加されました。

- **検出オプション**

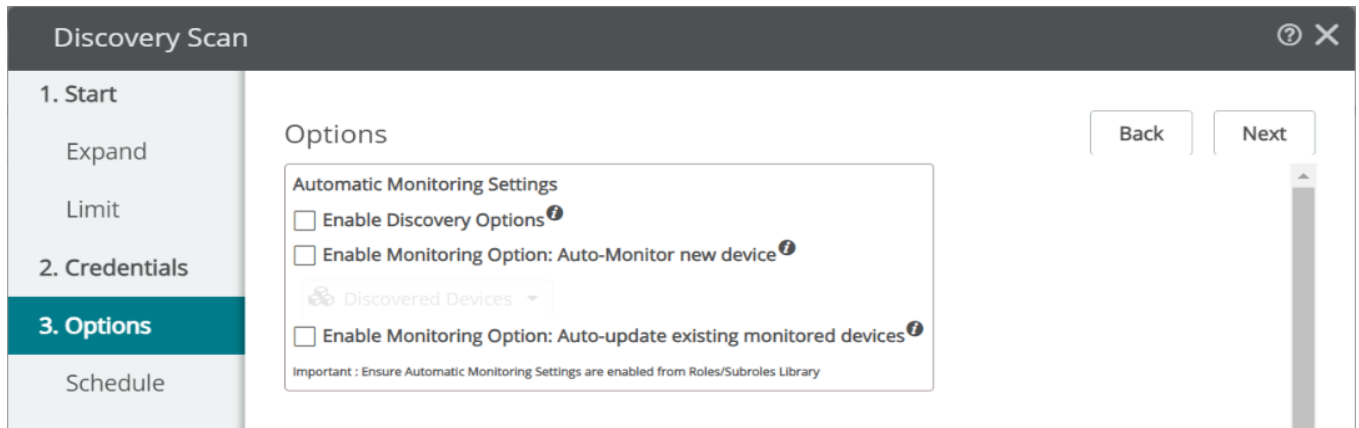
- **デフォルトの動作。**このルールに一致するデバイスは、検出されたネットワークに追加されません。
- **常にデバイスを表示。**このルールに一致するデバイスは、検出されたネットワークに表示されます。
- **常にデバイスを非表示。**このルールに一致するデバイスは、検出されたネットワークに表示されません。
- **デバイスを削除。**このルールに一致するデバイスは、検出されたネットワークから削除されます。
- **デバイスを削除し、グローバル除外に追加。**このルールに一致するデバイスは削除され、グローバル除外リストに追加されます。

- **監視オプション**

- **デバイスを自動監視しない。**このルールに一致するデバイスは、自動監視の対象になりません。
- **新しいデバイスを自動監視。**このルールに一致する新しいデバイスは、検出後に監視対象ネットワークに自動的に追加されます。
- **既存の監視対象デバイスを自動更新。**このルールに一致する既存の監視対象デバイスは、検出後に更新されます。
- **デバイスを自動監視し、自動更新。**このルールに一致する新しいデバイスは検出後に監視対象ネットワークに自動的に追加され、このルールに一致する既存の監視対象デバイスは検出後に更新されます。

The screenshot shows the 'Role Editor - Router' window. On the left is a sidebar with a 'General' tab selected, and other tabs like 'Scan Rules', 'Applied Sub Roles', 'Attributes', 'Custom Links', 'Monitors', 'Action Policy', and 'Tasks'. The main area is divided into three sections: a description box at the top stating 'Networking device in charge of routing and forwarding information between networks', a 'Notes' section with a text area containing 'This device was scanned by discovery on %Discovery.Session.StartDate.', and a 'Discovery Variable List' link. On the right, there are configuration options: 'Source' (Default), 'Weight' (13), 'Set as network device' (OFF), and 'Set poll using host name' (OFF). At the bottom right, there are 'Automatic Monitoring Settings' with 'Discovery Options' (Default behavior) and 'Monitoring Options' (Do not auto monitor de). A note at the bottom states: 'Important : Ensure Discovery Scan Options are enabled during new scan to enforce these options'.

これらの選択を有効にするには、該当する**自動監視設定**オプションを有効にする必要があることに注意してください。自動監視設定オプションは、検出ウィザードの [オプション] タブにあります。



## SNMP テーブル監視

**重要:** SNMP テーブル監視は、ライブラリ内の他のモニタのようにデバイスに割り当てないでください。これは、他のモニタとは異なり、検出スキャンを実行する前に、ロールまたはサブロールに割り当てて、設定するように設計された監視テンプレートです。検出後に、スキャン中に割り当てられたロールに基づいて、デバイス上に SNMP モニタの個別のインスタンスが作成されます。

WhatsUp Gold モニタライブラリに、特定の検出条件に基づいてデバイス（インターフェイス、ディスク、ファンなど）上のテーブル内の行ごとに個別の SNMP モニタを作成できるモニタが追加されました。このモニタは、デバイスに直接割り当てることが可能ではあるものの、検出スキャンを実行する前に、ロールまたはサブロールに割り当てて設定するように設計されています。デバイスが検出され、SNMP テーブル監視が適用されたロール/サブロールが割り当てられると、個々の SNMP アクティブモニタがそのデバイス上の各テーブル行に適用されます。詳細な情報と手順については、[SNMP テーブル監視](#)のヘルプを参照してください。

## 検出更新のオプション

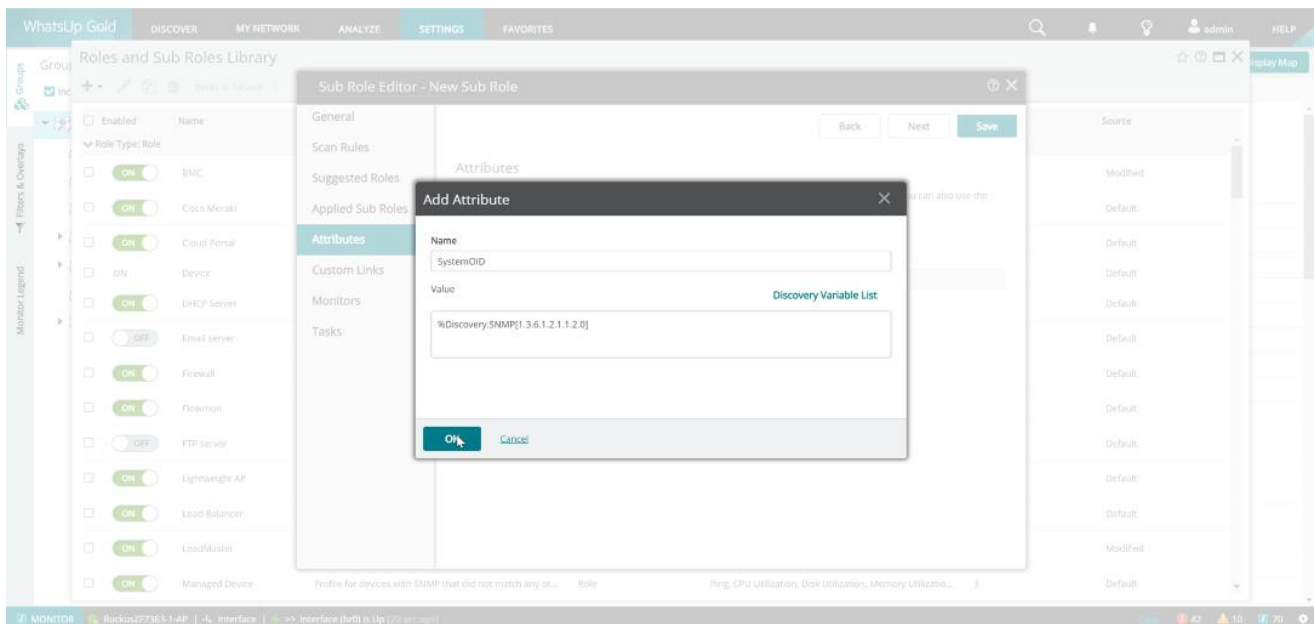
検出スキャンウィザードで利用できる監視対象デバイスに適用できるオプションが、拡張および機能強化されました。監視対象デバイスが有効になると、関連する次のオプションが使用可能になります。

- **監視対象デバイスを自動的に更新する。** 監視対象デバイスのホストとシステムの両方のプロパティを更新するには、このオプションを有効にします。[デバイスのプロパティ] の [最新の詳細を保持] オプションを有効にする必要があることに注意してください。
  - **インターフェイスおよび SNMP テーブルのアクティブモニタの名前を更新する。** このオプションを有効にすると、インターフェイスの状態（アクティブまたは非アクティブ）に該当するデバイスで見つかった新しい情報に基づいて、検出スキャンの一部としてデバイス名が更新されます。
  - **インターフェイスおよび SNMP テーブルのアクティブモニタを有効または無効にする。** このオプションを有効にすると、インターフェイスの状態（アクティブまたは非アクティブ）に該当するデバイス上で見つかった新しい情報に基づいて、インターフェイスアクティブモニタを検出スキャンの一部として有効または無効にできます。
  - **ユーザー定義/割り当てられたロールを含める。** このオプションを有効にすると、以前にデバイスに割り当てられたロール（ユーザーが以前に定義したロールを含む）がリフレッシュ/再スキャン後に確実に保持されます。
  - **デバイスをリセットする。**

- **モニタをリセットする。**このオプションを有効にすると、すべてのモニタおよび関連する履歴がデバイスから消去されます。
- **属性をリセットする。**デバイスの属性をリセットするには、このオプションを有効にします。
- **古いデータを削除する。**検出データとユーザー定義の期間のインベントリをリセットするには、このオプションを有効にします。過去の監視データと設定されたデータは保持されることに注意してください。

## 検出属性のユーザーコントロール

[属性] タブで、カスタム SNMP、WMI、および InfoSet 検出属性を動的パーセント変数を使用して作成できるようになりました。これらの属性は、ロールまたはサブロールに追加できます。InfoSet 検出属性は、WhatsUp Gold データベースに保存されている既存のデータを使用して情報を収集します。詳細な情報と手順については、[カスタム属性](#)のヘルプを参照してください。



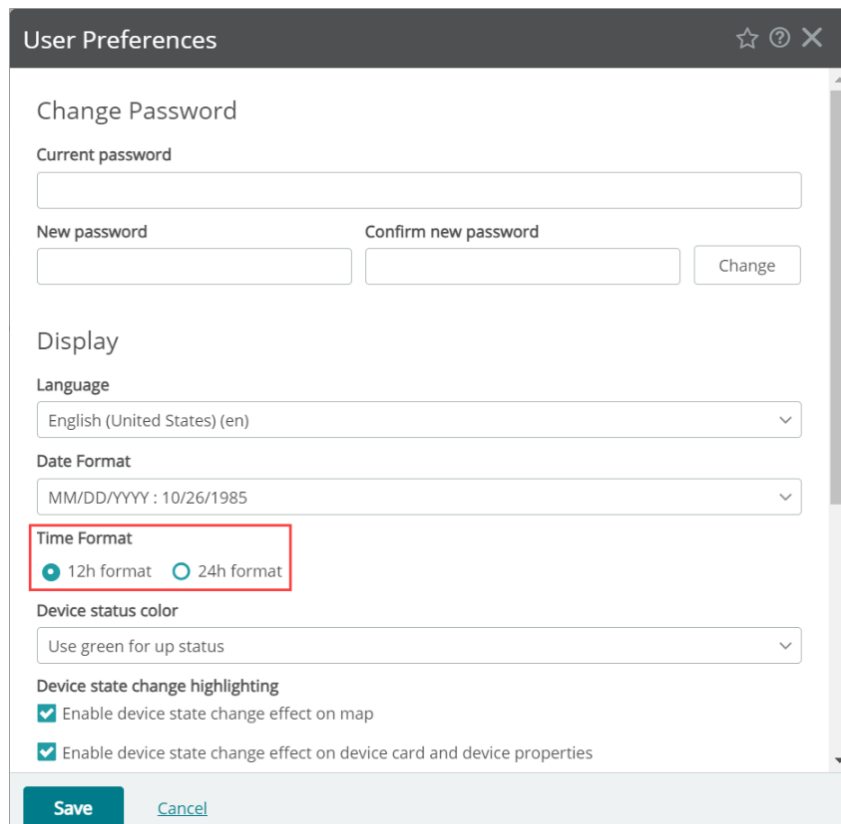
## 認証情報ライブラリインジケータ

認証情報ライブラリのユーザーインターフェイスが強化され、「この認証情報を使用するデバイス」というタイトルの新しい列が追加されました。ここに、設定された各認証情報が現在割り当てられているデバイスの数が表示されます。



## 24 時間単位の時刻形式

[ユーザー設定] ダイアログで、希望の時刻形式を選択できるようになりました。WhatsUp Gold で表示する時刻に関して、12 時間単位の形式か、24 時間単位の形式のどちらかを選択できます。



The image shows a 'User Preferences' dialog box with a dark header bar containing a star icon, a question mark icon, and a close icon. The dialog is divided into sections. The first section is 'Change Password' with fields for 'Current password', 'New password', and 'Confirm new password', and a 'Change' button. The second section is 'Display' with a 'Language' dropdown set to 'English (United States) (en)'. Below that is a 'Date Format' dropdown set to 'MM/DD/YYYY : 10/26/1985'. The 'Time Format' section is highlighted with a red rectangle and contains two radio buttons: '12h format' (which is selected) and '24h format'. Below this is a 'Device status color' dropdown set to 'Use green for up status'. The 'Device state change highlighting' section has two checked checkboxes: 'Enable device state change effect on map' and 'Enable device state change effect on device card and device properties'. At the bottom are 'Save' and 'Cancel' buttons.

## ログ管理設定の変更

WhatsUp Gold のこれまでのバージョンでは、WhatsUp Gold Log Management を使用する場合、Elasticsearch のインスタンスをインストールするか、既存の Elasticsearch のインスタンスに接続するかを、インストールプロセス中に、指定する必要がありました。WhatsUp Gold 2023.1 では、WhatsUp Gold ユーザーインターフェイスを使用して、インストール後に既存の Elasticsearch インスタンスに接続できるようになりました。

Log Management Settings

☆ ? ✕

▼ Elasticsearch Connection

Elasticsearch Address

Port

Credential (for customer supplied Elasticsearch instance)

Username

Password

☐ Use SSL

▼ Log Collection Settings

Online Data Retention

Total disk space usage limit

14 days

80%

Maximum usage limit: 95%

▼ Current Elasticsearch node disk space usage information

Node Name	IP Address	Disk Space (GB)	Elasticsearch	Others	Free
...		99	1.05%	42.10%	56.85%

☐ Enable Archive Logs

▼ Syslog Server Settings

☒ Enable Syslog server

Syslog Server IPv4 Address

Port

0.0.0.0

514

Save

Cancel

[設定] メニューから [ログ管理] > [ログ管理設定] を選択し、[ログ管理設定] ダイアログを起動します。該当する IP アドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワードを入力して Elasticsearch サーバーを定義できます。このダイアログでは、Elasticsearch への接続に SSL を使用するかどうかを指定したり、必要なログ収集や Syslog サーバー設定を指定したりすることもできることに注意してください。詳細な情報と手順については、[ログ管理設定](#)のヘルプを参照してください。

## アクションと通知の改善 (デバイスプロパティ)

[デバイスプロパティ] ビュー内の [モニタ] タブに、適用されたアクションやポリシーなど、デバイス上の各モニタに関する追加情報が表示されるようになりました。

Device Properties

WUG Server

Display Name | Edit  
WUG Server

Host Name | Edit  
windowsrv2019

IP Address | Configure Network Interfaces  
192.168.2.100

SNMP OID | Edit Custom

OS | Edit  
Windows Server 2019

Brand | Edit  
VMware, Inc.

Role | Edit  
Windows Server

Action Policy | Edit  
Device Action Policy

Device Status | Up

Up At Least 5 Minutes

Notes | Edit  
This device was scanned by discovery on 11/15/2022 09:44:54.

Monitors (9)

Active monitors (4)

Monitor	Argument	Comment	Status	Enabled	Library	Critical	Polling Interval	Actions & Policies applied
HTTP Content Monitor - 14...			Up at least 5 min	Yes	Yes	No	60 seconds (Default)	Monitor Level Action Policy (4 Actions)
IPswitch TFTP Server			Up at least 5 min	Yes	Yes	No	60 seconds (Default)	

Performance monitors (4)

Monitor	Thresholds applied	Items out of Threshold
Disk utilization	23.0 Threshold 1% disk	2
Memory Utilization	Performance Memory Utilization Exceeds 95%	0

Passive monitors (1)

Monitor	Enabled	Library	Actions & Policies applied
Any Trap	Yes	Yes	1 Actions

この列にリストされているアクションとポリシーにはハイパーリンクが付いており、クリックすると、適用されたアクションのフルページレポートが起動します。

WhatsUp Gold

DISCOVER MY NETWORK ANALYZE SETTINGS FAVORITES

Actions Applied

Device	State	Action Type	Action Name	Assigned to	Action Policy
DoxTestVM	Maintenance	E-mail Action	Email Action Policy (DoxTest)	Ping	Email Action Policy (DoxTest)

## アラートセンターダッシュボード

アラートセンターダッシュボードが強化されました。表示されるしきい値のリストを、しきい値を超えた項目の数（高から低）や、しきい値名のアルファベット順で並べ替えることができるようになりました。表示される各しきい値名の右側にある括弧内の数字は、しきい値を超えているか、現在しきい値内にある（以前はしきい値を超えていた）アイテムの数であり、どちらを表示するかはアラートセ



インターダッシュボードビューの選択によって決まります。括弧内に表示される数は最初は 10,000 を超える場合がありますが、しきい値を選択すると、最新の 10,000 項目のみが表示されることに注意してください。右側は、左側の列で選択したしきい値に該当する項目のリストです。表示される情報は、選択したしきい値のタイプによって異なります。個々のアイテムの左側にある […] アイコンをクリックして、[アイテムの詳細](#)を選択するか、関連するフルページレポートを起動します。詳細な情報と手順については、[アラートセンター](#)のヘルプを参照してください。

## EUM コンポーネントの非推奨

iMacros が 2023 年 11 月にサポート終了となったことに対応して、WhatsUp Gold アプリケーションモニタのエンドユーザー監視コンポーネントが、今回およびその後のすべてのリリースで非推奨になりました。これに関連して、WhatsUp Gold には次の変更が加えられました。

- [エンドユーザー監視スクリプト] オプションが [コンポーネントタイプの選択] ダイアログに表示されなくなりました。
- [EUM コンポーネント設定 (iDrone Manager サービス URL)] セクションが [アプリケーションモニタ設定] ダイアログに表示されなくなりました。
- EUM 監視数が [ライセンスの詳細] ダイアログに表示されなくなりました。
- アプリケーションプロファイルのインポート機能が更新され、EUM コンポーネントを含むプロファイルは受け入れられなくなりました。
- WhatsUp Gold のインストール中に、ユーザーに iDrone データベースインスタンスの作成を求めるプロンプトが表示されなくなりました。

## 更新および改善

当社では、ネットワークおよびアプリケーション監視用にクラス最高のソフトウェアの構築に取り組んでいます。問題や改善が必要な領域がある場合は、コミュニティに参加して、提案を投稿してください。ご意見をお待ちしています。

### v23.1 での更新および改善

機能エリア	項目	説明
レポート	WUG-15197	アップグレード後にスケジュールされたレポートが機能しなくなった。
モニタ	WUG-15128	Redfish アクティブモニタがアップグレード後に動作しなくなった。
レポート	WUG-15124	IPFIX デバイスがレポートに送信元ポートまたは宛先ポートを表示しない。
ツール	WUG-14917	新しい MIB Walker ベータ版を使用すると、"MIB Walk Failed" というエラーが返される。値が Int32 に対して大きすぎるか、または小さすぎる。
インストーラー	WUG-14888	v23 へのアップグレードプロセスにより、サポートされなくなった SQL Server バージョンが許可される。
アクション	WUG-14852	SNMP 設定アクションを使用してビット文字列を取得すると、無効な結果が返された。

設定管理	WUG-14797	アーカイブされたバックアップ設定をエクスポートすると、常に最新のバックアップが選択される。
モニタ	WUG-14781	Solaris デバイスのメモリ使用率のパフォーマンスが失敗し、“POLL FAILED” エラーが表示される。 MemoryPerformance: ポーリング中にデバイスのインデックスが再作成された。ポーリングできない。
レポート	WUG-14751	アドレス概要レポートのデバイスフィルタリング。
アクション	WUG-14713	[監視対象デバイスの選択] オプションを使用するとサービスの再起動アクションが失敗する。
レポート	WUG-14710	デバイスがソースとして表示されても、レポートには入力されない。
NTA	WUG-14709	NTA NBAR アプリケーション名に文字列の末尾の後にデータが含まれる場合、その名前が正しく解析されない。
モニタ	WUG-14704	デバイスが警告状態になってるとき、Meraki ステータスモニタがダウンする。
レポート	WUG-14673	リアルタイムのインターフェイス使用率レポートが機能しない。
レポート	WUG-14608	NOC ビューアが自動更新されない。
モニタ	WUG-14522	# 文字が含まれているモニタをモニタライブラリから削除できない。
サービス	WUG-14489	アップグレード後、NmService.exe によって WhatsUp Gold サーバーの CPU 使用率が 100% になる。
レポート	WUG-14435	インターフェイスアクティブモニタの状態変更タイムラインに情報が不足している。
インストーラー	WUG-14425	インストーラーのデジタル証明書の有効期限が切れている。
ロール	WUG-14292	1 つの WUG インスタンスで機能するカスタムロールを別の WUG インスタンスにインポートすることができない。"General element not found or duplicates"
モニタ	WUG-14239	アップグレード後、サービスが SNMP サービスモニタにリストされない。
アクション	WUG-13650	Teams に投稿する [デバイスのプロパティを開く] ボタンと [デバイスのステータス] ボタンをクリックすると空白のページが開く。
APM	WUG-13630	APM コンポーネントオーバーライドによりポーリングコントローラーがオフラインになる。
インストーラー	WUG-13447	オフラインインストールのログインページが遅い。
認証情報	WUG-13181	Meraki API キーが認証情報ライブラリに引き続き表示される。
レポート	WUG-13043	ライブアクティビティログのエラー。"Flushing bulk data for StatisticsInterfaceRaw encountered an exception"
モニタ	WUG-12754	FIPS が有効になっている RHEL 8 をネゴシエートすると SSH アクティブモニタが失敗する。
ワイヤレス	WUG-12654	Cisco 5520 WLC が、検出後に AP またはパフォーマンスデータを表示しない。
モニタ	WUG-12545	2 TB を超えるメモリを搭載した Linux デバイスのメモリ使用率を表示できない。

ロギング	WUG-11942	処理できない Web API 例外。 URL=/NmConsole/api/core/sticky/lastRoute?_dc=1655828373866&prefix=state Controller=Sticky
レポート	WUG-10924	すべてのデバイスの IP/MAC アドレスレポートのエクスポートがテキストおよび CSV では機能しない。
検出	WUG-10616	IP MAC アドレス例外は DiscoveryService のみを再起動するが、すべてのプロセスを再起動する必要がある。
APM	WUG-8258	APM アクション本体に追加されると、デバイスのパーセント変数が変更される。
モニタ	WUG-8257	値 51.520 が設定された上限値 156.306 より大きいという理由で、SNMP アクティブモニタのしきい値設定が失敗した。
ワイヤレス/ ライセンス	WUG-7135	[拡張オプション] が選択されていないにもかかわらず、WLC とともに WAP を追加するとライセンス制限を超過する。
モニタ	WUG-6616	SNMP トラップモニタが間違った OID に一致する。
アラートセンター	WUG-6318	[AC Dashboard] > [In Threshold] が選択されると、しきい値が 0 になる。
モニタ	WUG-5658	温度モニタに予期しないステータスが表示される。
ロギング	WUG-5483	Logger Health エラー: 文字列またはバイナリデータが切り捨てられる。ステートメントが終了する。
モニタ	WUG-5293	ポーリングが失敗した。10.3.160.61 デバイス (3584) のインターフェイス使用率に例外が発生した: INTERFACE POLL FAILED。入力文字列が正しい形式ではなかった。
レポート	WUG-5082	ステートの概要: グループツリーがエキスパンドされたままではなく、グループフィルター設定を反映していない。
検出	WUG-2929	デバイスの再スキャン、未割り当ての認証情報の再適用。
モニタ	WUG-1903	SNMP モニタの問題 - NTP モニタがミリ秒で。
モニタ	WUG-1716	Powershell アクティブモニタでメモリ不足エラーが発生する。
ロール	WUG-1606	ユーザーが削除したサブロールがデバイスから削除されない。
レポート	WUG-1440	アラートセンターのダッシュボード -> すべて表示 -> 間違った番号が表示される。

## 既知の問題

機能エリア	項目	説明	回避策
アクション	WUG-15349	OAuth 2.0 認証を使用したメールが失敗する (Azure で)。	リクエストに応じてホットフィックスを入手可能
レポート	WUG-15303	NOC ビューアで設定したマップグループが記憶されない。	一度に 1 つのマップに限定する
レポート	WUG-14905	ビューア内で NOC ビューアデッキを切り替えると、以前のデッキが引き続き表示される。	デッキを閉じて再開する

## 理解すべき事項

**重要:** WhatsUp Gold をアップグレードしたら、WhatsUp Gold サーバーを再起動し、WhatsUp Gold サーバーにアクセスするすべてのマシンでブラウザのキャッシュとローカルストレージをクリアしてください。

**重要:** MySQL データベースを監視するには、MySQL .NET Connector をダウンロードして WhatsUp Gold マシンにインストールしてください。互換性の問題が発生する可能性があるため、WhatsUp Gold の最新バージョンは MySQL .NET Connector バージョン 8.0.21 のみをサポートしていることに注意してください。アプリケーション監視機能や SQL Query アクティビティまたはパフォーマンスモニタを使用している場合は、コネクタをダウンロードしてバージョン 5.2.5 から 8.0.21 にアップグレードする必要があります。MySQL.NET Connector は、<https://downloads.mysql.com/archives/c-net/> からダウンロードできます。

**重要:** WhatsUp Gold をアップグレードする前にエージェントを展開して使用していた場合は、利用可能な修正や更新された機能を適用するためにエージェントを再展開する必要があります。エージェントを再展開し、WhatsUp Gold のアップグレードを完全に完了させるには、WhatsUp Gold エージェントを展開する権限を持つ管理者アカウントを使用して WhatsUp Gold にログインしていることを確認します。次に、メインメニューから [設定] > [WhatsUp Gold エージェント] > [エージェントのライブラリ] に移動します。ライブラリに表示されている既存のエージェントをすべて選択し、[エージェントの展開] をクリックします。このプロセスでは、5 つのエージェントを一括で更新します。大量のエージェントを展開している場合、このプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。

次の WhatsUp Gold ドキュメントも参照してください。

[ライフサイクル情報](#)

[ライフサイクルポリシーガイド](#)

[製品互換性ガイド](#)

[アイディエーションポータル](#)

[サポートの範囲](#)

[セキュリティガイドライン](#)

## システム要件

---

### ハードウェア要件のガイドライン

ハードウェア要件は WhatsUp Gold の設定に応じて異なります。監視対象デバイス数、モニタ数、モニタのタイプ、ポーリング間隔やその他の構成オプションが増えると、サーバーとデータベースにかかる負荷がさらに増大する可能性があります。環境のパフォーマンスを最適化するには、ハードウェア構成を調整する必要がある場合があります。

サーバーの最小推奨事項

	100 台のデバイス / 500 のメトリック* 最小要件	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック* 最小要件	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック* 最小要件
プロセッサ	クアッドコア	クアッドコア	クアッドコア
プロセッサ速度	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上
RAM	8 GB	16 GB	WhatsUp Gold サーバー:16 GB 専用 SQL Server: 32 GB (64 GB 推奨)
データベースの種類	SQL Server 2022 Express Edition	専用 SQL Server 2017/2019/2022	専用 SQL Server 2017/2019/2022
ハードドライブ	25 GB 以上の空き領域	<b>OS/アプリケーション</b> - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 <b>データベースファイル</b> - 4 x 100 GB の RAID 10	<b>OS/アプリケーション</b> - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 <b>データベースファイル</b> - 8 x 250 GB の RAID 10 <b>ログファイル</b> - 2 x 100 GB の RAID 0 <b>一時データベースファイル</b> - 2 x 250 GB の RAID 0 SQL Server のデータベースファイルとログファイルの移動の 詳細については、 <a href="#">How to migrate the WhatsUp Gold database</a> を参照してください。
ネットワークインタフ ェースカード	最小 100 Mbps (1 Gbps 推奨)	100 Mbps (1 Gbps 推奨)	1 Gbps
サウンドカード	テキスト音声変換アクショ ンには SAPI 対応サウンド カードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカード が必要

\*データベースに格納された各データポイントはメトリックとしてカウントされ、WhatsUp Gold はモニターごとに複数のメトリックを収集する場合があります。

## WhatsUp Gold にアクセスするための推奨事項

リモートマシンにインストールされているブラウザを使用して、WhatsUp Gold サーバーにアクセスすることをお勧めします。  
WhatsUp Gold サーバーにアクセスする場合は、最適なパフォーマンスを得るために、次の仕様に従ってください。

	100 台のデバイス / 500 のメトリック 最小要件	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック 最小要件	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック 最小要件
RAM	8 GB	8 GB	16 GB
プロセッサ	クアッドコア	クアッドコア	クアッドコア

ビデオ表示解像度	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上
サウンドカード	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要

## オペレーティングシステム要件

WhatsUp Gold は次の Windows Server プラットフォームをサポートしています。

- Microsoft Windows Server 2022
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2016

さらに、

- 評価用として、WhatsUp Gold は Windows 10 で動作します。ただし、運用レベルのサポートには、Windows Server バージョンが必須です。サポートされる Windows Server プラットフォームは、上記を参照してください。
- ドメインコントローラへの WhatsUp Gold のインストールはサポート対象外です。
- WhatsUp Gold が仮想環境でホストされている場合は、ライセンスの問題を防ぐために、WhatsUp Gold が動作している仮想マシンに静的 MAC アドレスを必ず割り当ててください。仮想マシンへの静的 MAC アドレスの割り当てについては、仮想マシンソフトウェアのヘルプドキュメントを参照してください。
- WhatsUp Gold にはクアッドコアプロセッサ (最小 2.6 GHz) が必要です。仮想マシンに WhatsUp Gold をインストールする場合は、ゲスト VM に最低 4 つの CPU コアが割り当てられていることを確認してください。さらに「ハードウェア要件のガイドライン」を参照してください。

## データベースの要件

**重要:** WhatsUp Gold へのアップグレードにより、WhatsUp Gold に付属されている SQL Server Express データベースは、SQL Server 2022 Express に更新されます。

**重要:** WhatsUp Gold のデフォルトインストールでデフォルトとしてインストールされるデータベースではなく、リモート SQL データベースを使用している場合、その他の WhatsUp Gold のデータベース設定については、『[WhatsUp Gold データベース移行管理ガイド](#)』を参照してください。

**注:** WhatsUp Gold データベースをホストするために使用される Microsoft SQL Server の照合順序は、SQL\_Latin1\_General\_CP1\_CI\_AS に設定する必要があります。Latin1\_General\_CI\_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。また、前述の各 WhatsUp Gold データベース

データベースの照合順序も SQL\_Latin1\_General\_CP1\_CI\_AS に設定する必要があります。Latin1\_General\_CI\_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。

WhatsUp Gold では、監視対象デバイスに関するデータの維持、システム設定の保存、およびユーザー設定のカスタマイズの保存を行うデータベースが必要です。データベースは WhatsUp Gold インストールと同じ場所に配置することも、リモートマシンでホストすることもできます。WhatsUp Gold のデータサービスは、次のデータベースサーバーで提供できます。次のデータベースバージョンがサポートされています。

- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Microsoft SQL Server 2022

## Web サーバーの要件

IIS がサポートされているプラットフォームでは、WhatsUp Gold のインストーラによってこれらが自動的にインストールされ、有効になります。WhatsUp Gold には、IIS の次の Web サーバー役割サービスが最低限必要です。

- Web サーバー
- ASP .NET
- 静的コンテンツ
- HTTP リダイレクト
- 既定のドキュメント

## フレームワーク要件

WhatsUp Gold には、スクリプト作成をサポートするために Microsoft .NET Framework およびその他の Microsoft パッケージが必要です。必要なソフトウェアフレームワークおよびサポートパッケージは次のとおりです。

- .NET 4.8 (インストールプログラムに含まれています)。
- PowerShell 2.0 (PowerShell スクリプトを作成する場合に必要。WhatsUp Gold インストーラには含まれていません。PowerShell のインストールの詳細については、Microsoft MSDN の Web サイトをご覧ください)。
- Microsoft Windows Scripting Host v5.7 以降。
- Microsoft SAPI 5.1 (テキスト音声変換アクションに必要です)。

**重要:** Microsoft .NET Framework オプションが必要です。ただし、Microsoft .NET Framework オプションでは次の機能/コンポーネントのオプションを有効にすることはできません。 [.NET Framework Windows Communication Foundation HTTP アクティブ化] および [Windows Communication Foundation 非 HTTP アクティブ化]。

## Web インタフェースの要件

WhatsUp Gold では現在、次の Web ブラウザを使用できます。

- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Mozilla Firefox

**ヒント:** WhatsUp Gold は、いずれの Internet Explorer バージョンも互換性または互換モードでサポートしていません。

## ログ管理の要件

WhatsUp Gold ログ管理機能は、監視対象デバイスからログデータを収集し、そのデータをレポートおよび分析用に Elasticsearch データベースに保存します。Elasticsearch データベースは、WhatsUp Gold サーバーにローカルにインストールすることも、Elasticsearch のリモートインスタンスにすることもできます。

WhatsUp Gold サーバーでは、リモート Elasticsearch インスタンスをサポートするために以下を必要とします。

- CPU 速度: 2.6 GHz 以上
- CPU 数: 8 コア以上
- RAM: 16 GB 以上

WhatsUp Gold サーバーでは、ローカル Elasticsearch インスタンスをサポートするために以下を必要とします。

- CPU 速度: 2.6 GHz 以上
- CPU 数: 8 コア以上
- RAM: 32 GB 以上
- ディスク領域: 585 GB 以上

## ポーラーの要件

ネットワーク環境と製品展開に応じて、WhatsUp Gold は 1 台の WhatsUp Gold サーバーと追加のポーラー（メトリックの数に応じて追加のポーラーが必要）によって、デバイスを最大で 20,000 台まで、メトリックを最大で 100,000 までポーリングできます。WhatsUp Gold システムにポーラーを追加でインストールすると、アクティブモニタデータとパフォーマンスモニタデータを WhatsUp Gold サーバーに転送できます。ポーリングアクティビティを複数のポーラー間に拡張すると、WhatsUp Gold がポーリングし、データを収集して WhatsUp Gold システムに送り返すことのできるデバイスの数が増えます。ポーラーを追加することで、WhatsUp Gold はポーリングをより多くのネットワークデバイスに効率的に拡大し、結果としてより大きなネットワークを監視および管理する能力を提供できるようになります。追加のポーラーは、WhatsUp Gold サーバー以外のネットワーク上のどの Windows システムにもインストールできます。



	各追加ボラーの最小要件
プロセッサ	クアッドコア
RAM	4 GB
ハードドライブのアプリケーション用空き領域	2 GB
OS の要件	上記の「オペレーティングシステム要件」のセクションを参照してください。

## WhatsUp Gold のインストール

WhatsUp Gold の最近のバージョンは WhatsUp Gold v20.0.2 以降からの直接アップグレードインストールをサポートしています。古いバージョンの WhatsUp Gold を実行している場合は、最新バージョンの WhatsUp Gold をインストールする前に、まず v20.0.2 にアップグレードする必要があります。アップグレード後にユーザーインターフェイスに新しい Web アプリケーションページが表示されるように、ブラウザのキャッシュを必ずクリアしてください。アップグレードを行う前に、必ずデータベースをバックアップしてください。WhatsUp Gold に含まれる SQL Express データベースを使用している場合は、アップグレードに進む前にインストーラ/アップデータでバックアップ作業を行うことができます。インストール、アップグレード、修復、およびアンインストールの詳細については、『WhatsUp Gold のインストール』ガイドを参照してください。

**重要:** WhatsUp Gold カスタムデータベース変更のアップグレードはサポートされていません。WhatsUp Gold インストーラは、WhatsUp Gold データベーススキーマに対するデータベースの変更を検出した場合、警告を表示してインストールを継続します。将来の WhatsUp Gold リリースでは、インストーラの警告に対処するまでインストーラが先に進まないようになる予定です。

オフラインでのインストールとアクティベーション

**重要:** インターネットに接続しているマシンでアカウントからパッケージをダウンロードし、目的のサーバーでインストーラを実行します。アクティベーション番号の入力を求められたら、[オフラインアクティベーションモードを使用] を選択してアクティベーションプロセスを続行します。評価者ライセンスをお使いでアカウントへのアクセス権がない場合は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。

**注:** IPv6 のみの環境では、オフラインアクティベーションを使用する必要があります。

## 製品ライフサイクルに関する情報

現在サポートされているバージョンについては、「[WhatsUp Gold ライフサイクル](#)」ページを参照してください。

## 著作権表示

Progress Software Corporation の現在の製品ドキュメントの著作権表示/商標説明を確認するには、次のページにアクセスしてください: <https://www.progress.com/legal/documentation-copyright>。